

ロボット・テクノロジー関連株ファンド – ロボテック – (毎月決算／予想分配金提示型) 足元の運用状況と今後の見通しについて

2025年3月14日

平素は、『ロボット・テクノロジー関連株ファンド – ロボテック – (毎月決算／予想分配金提示型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2025年3月13日に決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

なお、基準価額の水準等を勘案した結果、今期の分配金を0円（1万口当たり、税引前）といたしました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

[ご参考・収益分配方針]

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

下記イ、およびロ、に基づき分配します。

イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配を行ないません。

ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

(a) 10,000円以上11,000円未満の場合・・・100円

(b) 11,000円以上12,000円未満の場合・・・200円

(c) 12,000円以上13,000円未満の場合・・・300円

(d) 13,000円以上14,000円未満の場合・・・400円

(e) 14,000円以上の場合・・・500円

なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

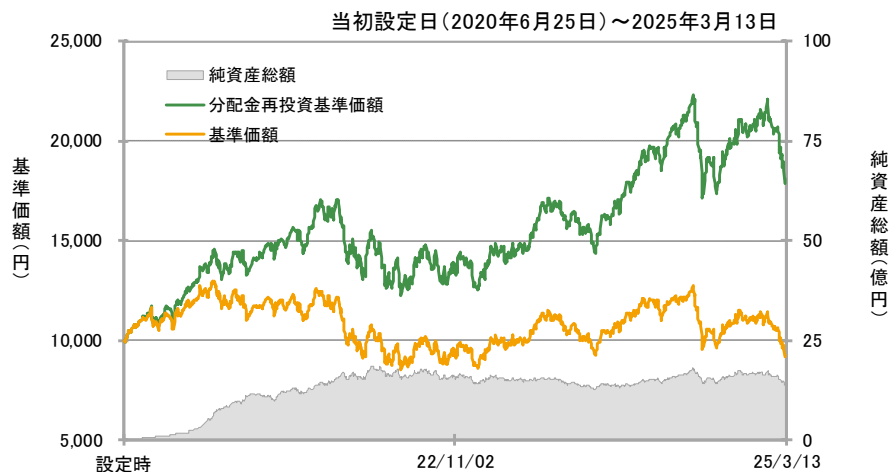
※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

基準価額・純資産の推移(2025年3月13日時点)

基準価額	9,260円
純資産総額	14億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～52期	合計:	7,000円
第53期	(24/11/13)	200円
第54期	(24/12/13)	200円
第55期	(25/1/14)	200円
第56期	(25/2/13)	100円
第57期	(25/3/13)	0円
分配金合計額	設定来:	7,700円
	直近5期:	700円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

- ・ 米国政府の関税政策への警戒感から上昇幅を縮小する展開に
- ・ 見通し・運用方針 ～ 設備投資の増加や、AIへの投資拡大が追い風に

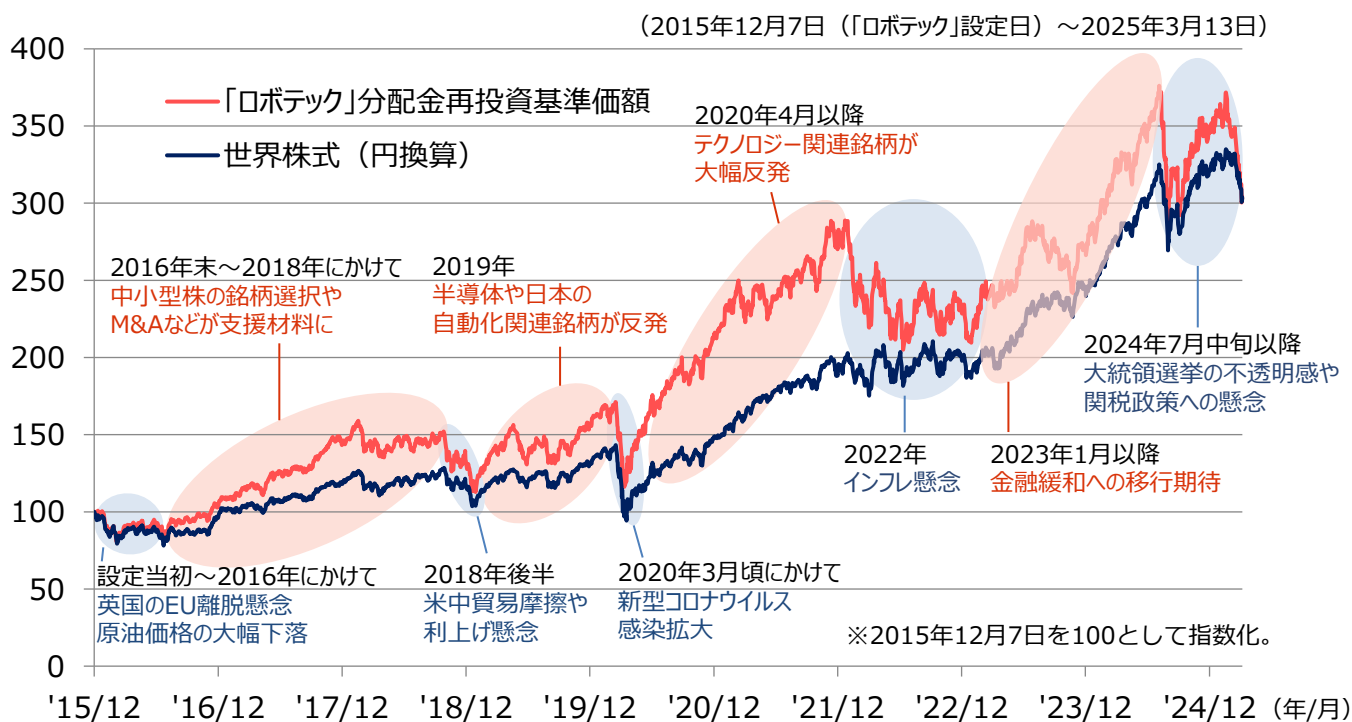
米国政府の関税政策への警戒感から上昇幅を縮小する展開に

■ 当期間の投資環境：グローバル株式市場は上昇（2024年9月12日～2025年3月12日）

当期間（2024年9月12日～2025年3月12日）のグローバル株式市場は、上昇しました。2024年12月末にかけては、底堅い米国の経済指標を受けて過度な景気懸念が後退する中、設備投資の促進や大規模減税を掲げるトランプ氏が再選したことで、上昇基調で推移しました。当期末にかけては、米国政府による巨額のAI（人工知能）投資方針が示されたことで、更に上昇する場面もみられましたが、トランプ氏の関税賦課をめぐる発言を受けてリスク回避の動きが強まり、上昇幅を縮小する展開となりました。

そのような環境下で、ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー（以下、ロボテック）の分配金再投資基準価額は、為替市場が円安米ドル高で推移した一方で、関税政策への警戒感が重石となり、ほぼ横ばいとなりました。

「ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー」と「世界株式」のパフォーマンス比較



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています（後述の「ファンドの費用」をご覧ください）。※「世界株式」はMSCI ACWI Indexを使用しています。また、当ファンドのベンチマークではありません。円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※「ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー」は当ファンドと同様の運用手法の別ファンドです。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーク

■ セクター別では、情報技術、ヘルスケアが弱含む一方で、資本財・サービスが堅調

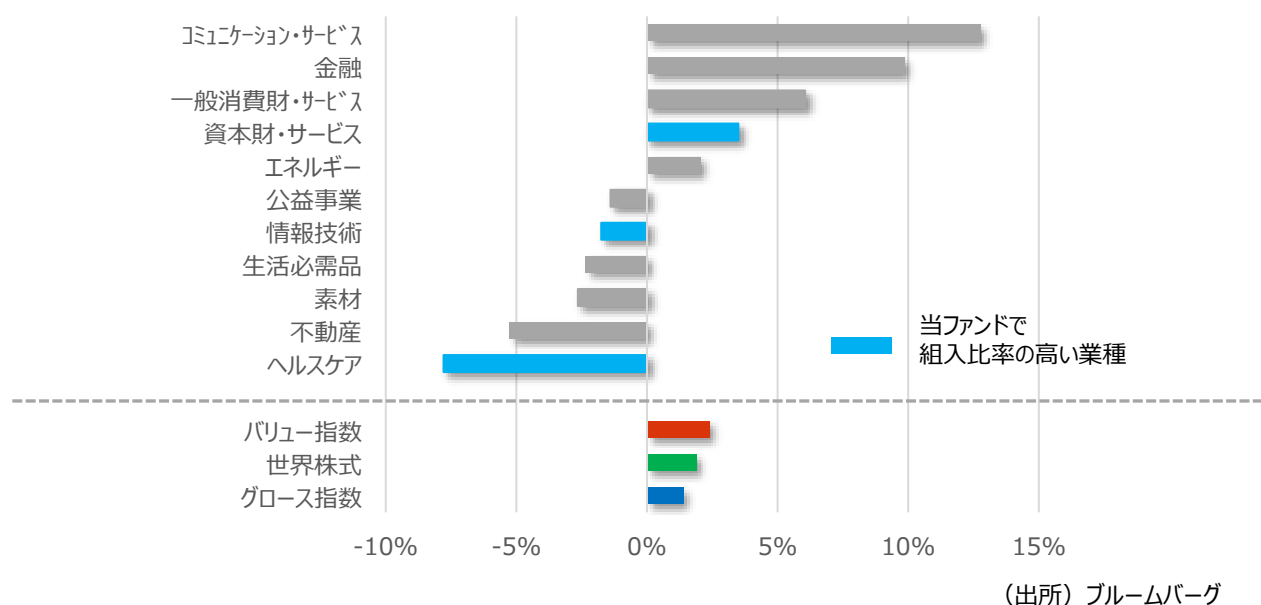
セクター別では、情報技術が下落しました。当ファンドが主要投資対象としている欧米の半導体関連銘柄は、トランプ政権の関税政策をめぐる報道から全般的に軟調に推移しました。

資本財・サービスは上昇しており、当ファンドが主要投資対象としている自動化関連銘柄もプラスに寄与しました。保有銘柄では、倉庫自動化ソリューションを提供するダイフクは、海外市場における自動搬送システムへの需要が拡大する中、良好な業績見通しを発表したことで上昇しました。

ヘルスケアは下落しました。当ファンドが主要投資対象としているヘルスケア機器関連銘柄は、コロナ禍で持ち越されていた手術需要が世界的に回復する中、手術用装置・機器の導入が広がっており、追い風となりました。しかし、関税政策の影響が重石となったことで、当期末にかけて反落する展開となりました。保有銘柄では、手術設備メーカーのインテュイティブサージカルは、新型装置の好調な売上が好感されたものの、関税政策が業績の重石になるとの見方が強まり、下落しました。

世界株式の業種別・スタイル別パフォーマンス

(2024年9月12日～2025年3月12日)



※世界株式・業種別指数・スタイル別指数はMSCI ACWI Index（ドル建て）を使用しています。

※ MSCI ACWI Index（ドル建て）は当ファンドのベンチマークではありません。

※「当ファンドで組入比率の高い業種」はGICS11分類による当ファンドの組入上位3業種。

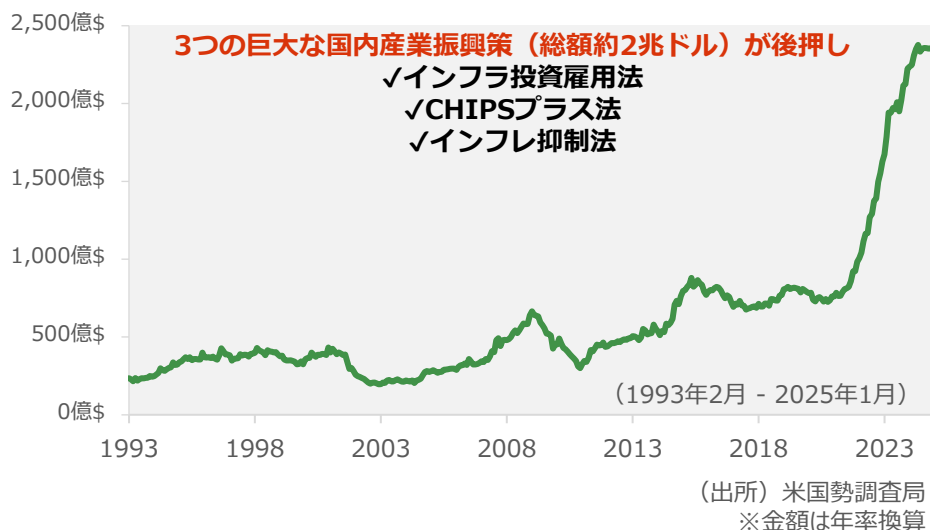
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

見通し・運用方針 ～ 設備投資の増加や、AIへの投資拡大が追い風に

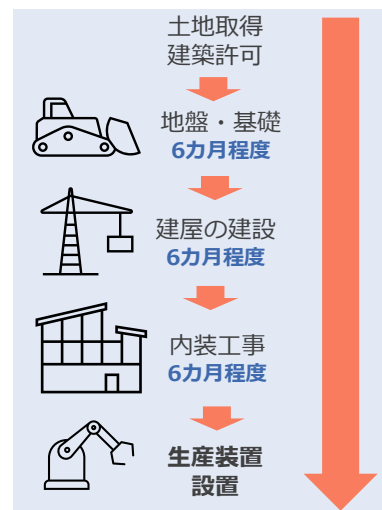
■ トランプ政権下でも国内生産強化に向けた政策は変わらない見通し

バイデン政権下で打ち出した国内産業振興策が奏功しつつあり、企業による設備投資は良好な見通しです。当面の間、米国の関税政策に関する報道や憶測が市場の変動要因になることが予想されます。一方で、トランプ政権の関税政策の目的は、貿易赤字の削減に加えて、米国内の生産強化を促すことです。2025年3月には、台湾の半導体受託生産大手のTSMCは、米国で先端半導体の生産体制を拡充するために、1,000億米ドルの投資を行うと発表しました。このような動きは、米国内における設備投資の増加や自動化需要の拡大を後押しすると考えています。また、トランプ政権が公約に掲げる厳格な移民規制を実施した場合には、労働力不足の更なる深刻化が予想されます。総じて業務効率化や自動化への構造的な需要が高まる中、ロボット・自動化分野への需要は加速すると見込んでいます。

■ 米国製造業の建設投資の推移



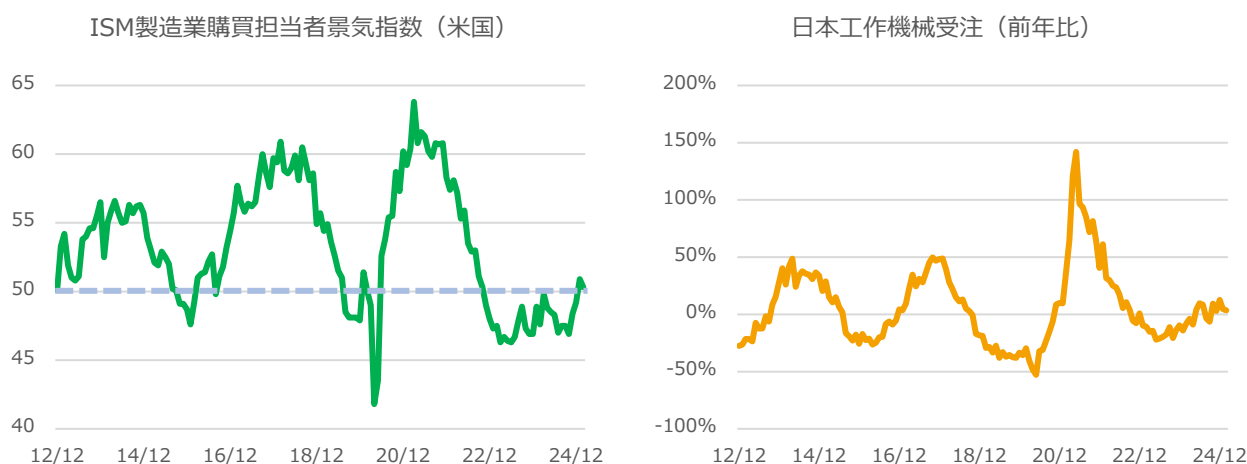
■ 工場建設の時間軸イメージ ※生産装置の設置まで2年程度



■ 景気見通し・運用方針（続き）

トランプ政権については、関税政策やウクライナ問題をめぐる発言から市場を左右する場面もみられますが、産業面ではリショアリング（生産拠点を海外から国内に戻す動き）の重視、規制緩和の推進や建築許可手続きの迅速化などが期待されています。当ファンドの戦略は政策の恩恵を受ける有利な立場にあると考えており、その動向には注視しています。関税政策については、中国の産業活動の重石となる一方で、米国への投資加速を促す一因になると考えています。企業側は、足元の状況に加えて、第一次トランプ政権の関税政策やコロナ禍で生じた供給網の混乱などを鑑みて、米国での製造拠点の構築に向けて投資を進めていくと想定しています。

また、コロナ禍により結果的に生じた過剰生産能力や余剰在庫もようやく解消しつつあり、主要な産業活動指標が改善傾向を示しています。循環的な投資サイクルの改善も、当ファンドの戦略にとって支援材料になると考えています。



ISM製造業購買担当者景気指数（米国）：2012年12月末～2025年2月末
 日本工作機械受注（前年比）：2012年12月末～2025年2月末
 （出所）Bloomberg

注目の集まるAIについては、自律的な情報収集を基に自身で判断を下すエージェントAIや、実物とAIを組み合わせたフィジカルAIの開発が進んでいくと見込んでいます。具体的には、コールセンターにおいて顧客の発言内容を基に最適な回答を行うための活用や、AIが周辺環境を認識して操縦を行う自動運転が挙げられます。どちらも発展途上の技術ではあるものの、投資機会を拡大させるカタリストになると捉えています。

引き続き、ロボット・自動化関連ビジネスにおいて長期的な成長機会を提供している分野や企業に注目して投資を行ってまいります。

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、様々なロボット関連産業の企業に投資します。

今後も、長期的な投資家として、実績の高い事業モデルを有し、大きなビジネスチャンスがあり、経営が強固な企業を選別することに注力していく方針です。

投資対象ファンド*の運用状況（基準日：2025年2月末）

* アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

《アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の運用状況》					※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。	
※アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。						
資産別構成			株式 業種別構成		株式 国・地域別構成	
合計98.2%			合計98.2%		合計98.2%	
資産	銘柄数	比率	業種名	比率	国・地域名	比率
外国株式	43	83.6%	半導体・半導体製造装置	24.0%	アメリカ	66.3%
日本株式	7	14.6%	資本財	22.9%	日本	14.6%
現金等		1.8%	ソフトウェア・サービス	14.7%	ドイツ	6.1%
合計	50	100.0%	ヘルスケア機器・サービス	12.4%	フランス	3.0%
			テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.6%	台湾	3.0%
			一般消費財・サービス流通・小売り	5.5%	カナダ	1.8%
			メディア・娯楽	3.7%	オランダ	1.6%
			医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.6%	ケイマン諸島	0.8%
			運輸	1.5%	バミューダ	0.6%
			自動車・自動車部品	0.3%	その他	0.4%
株式 通貨別構成			合計98.2%			
通貨名		比率				
米ドル		71.0%				
日本円		14.6%				
ユーロ		9.1%				
台湾ドル		3.0%				
ノルウェー・クローネ		0.6%				
株式 規模別構成			合計98.2%			
規模		比率				
大型株（時価総額100億米ドル超）		82.2%				
中小型株（時価総額100億米ドル以下）		16.0%				
組入上位10銘柄					合計39.5%	
銘柄名			国・地域名	業種名	比率	
エヌビディア			アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.6%	
アマゾン・ドット・コム			アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	5.5%	
インテュイティブサージカル			アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	5.2%	
キーエンス			日本	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.8%	
ケイデンス・デザイン・システムズ			アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6%	
シーメンス			ドイツ	資本財	3.0%	
シュナイダーエレクトリック			フランス	資本財	3.0%	
台湾積体回路製造 [TSMC]			台湾	半導体・半導体製造装置	3.0%	
デクスコム			アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.9%	
オートデスク			アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.9%	

※アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。※上記データは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日のデータに基づきます。※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※以下のファンドの投資対象ファンドです。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－

ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－（毎月決算／予想分配金提示型）

ご参考：組入上位10銘柄のご紹介（2025年2月末時点）

組入上位銘柄紹介		※アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。	
銘柄名（国・地域名／業種名）		銘柄紹介	
エヌビディア （アメリカ／半導体・半導体製造装置）		米国の半導体メーカー。コンピュータの画像処理などに使われるGPU（グラフィック処理装置）で高いシェアを誇る。生成AIの開発競争が追い風となり、データセンター向けGPUの売上げが急拡大し、今では同社の売上高の大半を占めている。高い製品力に加え、AI開発を支援するソフトウェアに強みを持ち、データセンター向けGPUでは圧倒的なシェアを持つ。	
アマゾン・ドット・コム （アメリカ／一般消費財・サービス流通・小売り）		幅広い商品を取り扱うオンライン小売。搬送ロボット・メーカーのKiva Systemsを買収後、10年超にわたり物流の自動化ソリューションを開発・導入している。同社の物流拠点ではすでに75万台超のロボットが稼働しており、迅速なサービスの実現に貢献している。また、収益源の柱のひとつであるクラウド事業の今後の成長性も期待されている。	
インテリジェントサージカル （アメリカ／ヘルスケア機器・サービス）		「ダビンチ・システム」という手術支援ロボットを製造・販売。優れた3D（三次元）高解像度画像と、ロボットアームによる微細な操作により、患者の身体的な負担を軽減する低侵襲手術の成功率を上げている。同社の手術支援ロボットは、2023年末時点で71か国で導入されており、2023年1年間の手術件数は220万件超に及ぶ。	
キーエンス （日本／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）		FA（工場生産の自動化）向けセンサーを中心に、測定器や画像処理機器の企画・設計・開発・生産を行う。自動車や半導体、電子・電気機器、通信、機械、化学、薬品、食品など、幅広い業界を相手に事業展開する。新商品の約70%が世界初・業界初の商品であり、自動化による生産性向上、安全性向上、環境・省エネ対策など、生産現場の課題解決につながる付加価値の高い提案力に強みを持つ。	
ケイデンス・デザイン・システムズ （アメリカ／ソフトウェア・サービス）		米国の半導体開発用ソフトウェア・メーカー。半導体企業向けにEDA（半導体や電子機器の設計作業を自動で行う）ツール、半導体のIP（半導体を構成する部分的な集積回路資産）を提供し、顧客の設計と開発のコスト削減、製品を市場投入する時間の短縮などを支援している。	
シーメンス （ドイツ／資本財）		グローバルに展開するドイツの総合エンジニアリング企業。FA（工場生産の自動化）向けのソフトウェアにおけるリーディング・プロバイダー。1つのシステムですべてのオートメーションのアプリケーションに応えられるソリューションを提供。今後、工場のスマート化が進むにつれ、需要の拡大が見込まれる。	
シュナイダーエレクトリック （フランス／資本財）		フランスを拠点とする電気機器・産業機器メーカー。2023年1月に産業用ソフトウェアのグローバルリーダーである英国のAVEVAを買収。ビル、データセンター、電力インフラや工場向けに、エネルギー管理と自動化関連のDXソリューションをグローバルに提供している。	
台湾積体回路製造 [TSMC] （台湾／半導体・半導体製造装置）		台湾を本拠とする半導体受託製造の世界最大手。最先端の半導体の製造を可能とする最高水準の微細加工技術を誇る。地政学リスクの高まりを背景に生産拠点の分散を進めており、2024年2月には日本の熊本に第1工場を開所し、第2工場の建設も決定している。また、米国やドイツにおいても工場の建設を進めている。	
デクスコム （アメリカ／ヘルスケア機器・サービス）		米国の医療機器メーカー。糖尿病患者向け血糖値モニタリング・システムを設計・開発。血糖値を常時測定する埋め込み用の小さな機器と、指定された間隔で送信される血糖値を読み取るための小型体外受信機を開発。	
オートデスク （アメリカ／ソフトウェア・サービス）		米国のソフトウェア企業。AutoCADに代表される図形作成ソフトウェアを主に開発・販売。同社の2D・3D作図製品は、各種業界および家庭で建築設計、機械設計、地理情報システムとマッピング、および可視化に使用される。	

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）の産業グループによるものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

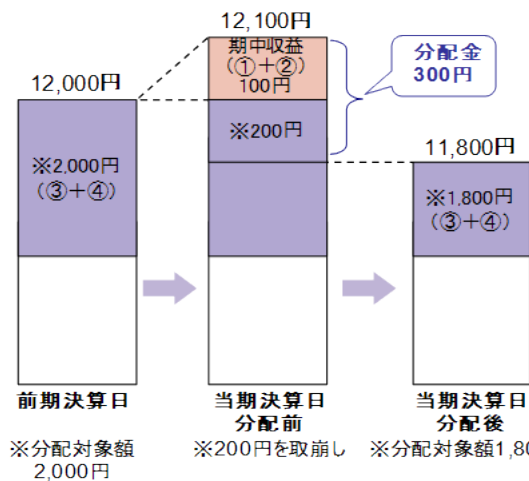
投資信託で分配金が支払われるイメージ



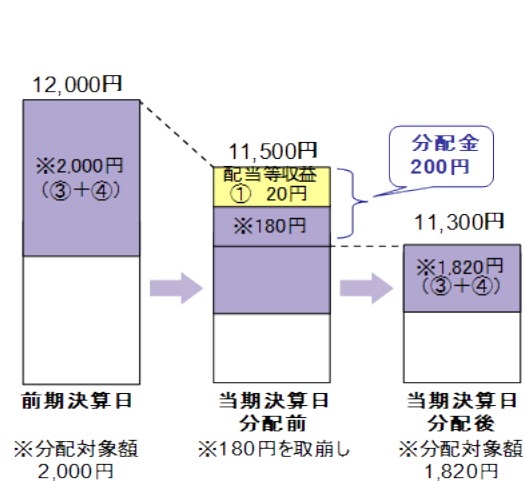
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



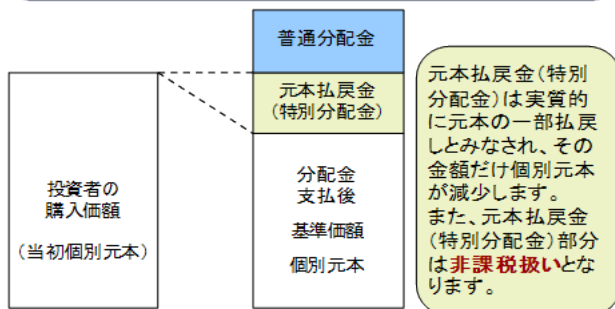
前期決算日から基準価額が下落した場合



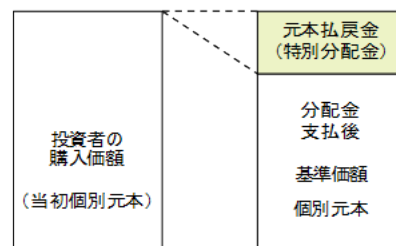
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金) 額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ・日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ・日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資します。
- ・株式の運用は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが担当します。
- ・毎月 13 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 当ファンドは、特定の業種への投資比率が高くなるため、市場動向にかかわらず基準価額の変動が大きくなる可能性があります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
購 入 時 手 数 料	販売会社が別に定める率 (上限) <u>3.3%(税抜3.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信 託 財 産 留 保 額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
運 用 管 理 費 用 (信 託 報 酬)	年率1.2375% (税抜1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配 分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.35%
	販売会社	年率0.75%
	受託会社	年率0.025%
投資対象とする 投資信託証券	年率0.5775% (税抜0.525%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
実質的に負担する 運用管理費用	<u>年率1.815%(税込)程度</u>	
そ の 他 の 費 用・ 手 数 料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消することがあります。
繰上償還	● 主要投資対象とするアクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

設定・運用:

商号等

加入協会

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Daiwa Asset Management

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー（毎月決算／予想分配金提示型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。